

施設長	園長	記録者
		

社会福祉法人駿河会 地域密着型サービス運営推進会議【薬科】

日時 令和6年 6月13日 13:30～14:00
 会場 ラポーレ駿河相談室
 出席者

施設長	玉田直文	地域代表	森朝世	こだま	小林由季
園長	川崎誠之	地域代表	田中博子	嘉響	加藤真子
所長	稲葉紀和	地域包括	佐藤孝秀		

事務局 本日はお時間をいただきましてありがとうございます。
 では、早速ですが駿河会の地域密着型サービス運営推進会議を始めたいと思います。

はじめの挨拶

玉田施設長 本日はお越しいただきありがとうございます。
 昨年度末に所長の村田が退職し、新しく稲葉が所長として就任しました。
 新しい人事となりましたが、円滑に移行する事ができていると思います。
 短い時間ではありますが、忌憚のないご意見を頂ければと思います。

事務局 本日の議題は令和5年度の実績報告等について、嘉響・こだま双方の担当者より報告させていただきます。

まず初めに、近状についてご報告させていただきます。

●令和6年度 介護報酬の改定について

- ・基本報酬、加算要検等の変更
- ・義務要件の追加（事業継続計画の作成、高齢者虐待防止、身体拘束の適正化）

●被災地支援 石川県能登市 グループホーム“なかよし”への職員派遣

●添付資料

※こだま・嘉響報告原稿

以上、通所事業所共通の近状についてご報告させていただきました。

それでは、ここからは こだま、嘉響の順で、各担当者から報告させていただきます。

こだま（小林） 添付書類参照

嘉響（加藤） 添付書類参照

- 事務局 以上、こだま、嘉響における令和5年度実績の報告でした。
各担当者は、もっとお話ししたい事があると思います。
森さん、田中さん「こんなことを聞いてみたい」というような事はありますか？
- 田中委員 嘉響さん、こだまさんの報告を聞いて、利用者さんの病状が悪化しても最後まで
デイサービスを利用できるのは素晴らしいことだと感じました。昔に比べると医療
依存度が高い方が多くなってきたと思いますが、利用者さんが生き生きとデイサービ
スを利用する姿を見ることは、職員にとってやりがいにつながる事だと思いますのでこれ
からもサービスの質を維持してほしいと思いました。
- 森委員 私が住んでいる地域では山間部ならではで、隣の家まで距離があることもあって、近隣
の人の様子を確認する事も大変な時があります。また、人によって他者とのかわり
を持つことを苦手とする方もいるので、地域の人だけで見守りをするには限界があると
感じています。
- 田中委員 私の地域でも一人暮らしの方がいますが、住民だけで支援をすることが大変だと感じる
時は地域包括さんへ相談させて頂いています。誰も気づかない状況になってしまうと
大変なので、住民同士気かけあうというのが大切だと思います。
- 森委員 デイサービスのような福祉のサービスを利用する機会があれば見守りを行う事も少し
変わってくると思うので、何かあれば相談させて頂きますね。
- 小林 これからも地域の方々にデイサービスを利用して頂けるよう、地域の皆様に嘉響やこだま
の事を知ってもらえるよう、広報や営業に力を入れていきたいと思っています。
- おわりの挨拶
川崎園長 本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。
田中さんや森さんからのお話を伺うと、いつも地域の課題について考える良い機会となり
ます。山間部の人口が過疎化していく事や高齢化率が上がる状況がこれからどんどん進む
中で、福祉事業所として地域の為に何ができるのか。介護保険サービスにこだわらず、
これからも地域の課題に対して解決していけるよう地域包括センターのお力も頂きながら
対応していきたいと思っています。
本日はありがとうございました。
- 事務局 皆さま、様々なご意見ありがとうございました。これで会議を終了とさせていただきます。
次回開催時は準備ができ次第ご連絡差し上げるように致します。
本日はありがとうございました。

2. (1)通所介護・地域密着型通所介護①

改定事項

- 通所介護・地域密着型通所介護 基本報酬
- ① 1(2)②豪雪地帯等において急な気象状況の悪化等があった場合の通所介護費等の所要時間の取扱いの明確化
- ② 1(5)④業務継続計画未策定事業所に対する減算の導入
- ③ 1(6)①高齢者虐待防止の推進
- ④ 1(6)②身体的拘束等の適正化の推進
- ⑤ 1(7)③通所介護・地域密着型通所介護における認知症加算の見直し
- ⑥ 2(1)③リハビリテーション・個別機能訓練、口腔管理、栄養管理に係る一体的計画書の見直し
- ⑦ 2(2)①通所介護等における入浴介助加算の見直し
- ⑧ 2(3)①科学的介護推進体制加算の見直し
- ⑨ 2(3)③アウトカム評価の充実のためのADL維持等加算の見直し
- ⑩ 3(1)①介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算の一本化
- ⑪ 3(2)①テレワークの取扱い

2. (1)通所介護・地域密着型通所介護②

改定事項

- ⑫ 3(2)⑧外国人介護人材に係る人員配置基準上の取扱いの見直し
- ⑬ 3(3)⑦通所介護、地域密着型通所介護における個別機能訓練加算の人員配置要件の緩和及び評価の見直し
- ⑭ 5②特別地域加算、中山間地域等の小規模事業所加算及び中山間地域に居住する者へのサービス提供加算の対象地域の明確化
- ⑮ 5⑤通所系サービスにおける送迎に係る取扱いの明確化

令和6年度 デイサービスセンター嘉響の活動報告

地域密着型運営推進会議

令和6年6月13日

1.令和5年度の実績

	【令和4年度】	【令和5年度】
延べ利用者数	3133名	3153名
(内訳)	総合事業：936名 介護：2197名	総合事業：1225名 介護：1928名
1日平均利用者数	10.25名	10.27名
稼働率	57%	57%
年間収入	2,993万円	2,831万円
新規利用者数	19名	14名
終結者数	20名	20名

R5年度は前年度と比べ、延べ利用者数、1日平均利用者数、稼働率もほぼ同じ数値となりましたが、年間収入は100万円ほど減少しています。

収入が減少した要因の一つとして、R4年度は要介護3以上の方が多く利用されていたのに対し、R5年度は軽度の方の利用が多かったことが挙げられます。長期間利用されていた方が加齢や状態変化等で重度化し、施設入居や亡くなる一方で、R5年度の新規利用者は比較的軽度の方に多く利用いただけたこともあり、延べ利用者数は変わりませんでした。収入が減少することとなりました。

2.2023年度品質目標について

2023年度品質目標は、『対応力を高めて、満足してもらえる嘉響を目指す』と設定し、活動してきました。まず、一つ目はBCPの作成です。晃の園のBCPを参考に、令和4年の台風15号の時の事を思い出しながら、土台を作り、作成・周知することができました。今後も継続的に検討・修正を繰り返し、防災訓練をして事業所の状況に即した内容へとブラッシュアップすることが必要になります。

二つ目に関しては、体験利用者の活動目的・利用目的を共有し、目的に沿ったサービスを提供、その後振り返りを行い、4月から12月までの時点で体験利用者が15名のうち、本利用に繋がった数が12名となり、4～12月間で体験利用者総数の内、目標の8割以上の方が本利用につながる結果となりました。

利用目的に合わせて交流目的の方には座席の配慮や機能訓練目的の方にはPTとの運動指導や個別運動に対応することができました。また、事前の見学に対応し、ご本人の意向に沿うように頭の体操や入浴方法を工夫して提供し、細かなオーダーに対応することができたことは嘉響の強みへと繋がっていきました。今回、8割の方が本利用へと繋げることがで

きましたが、新規利用者より終結者の方が多い状態は続いており、嘉響の強みを再確認出来た上で、今年度は地域ニーズを把握し、ニーズに対応できるように取り組んでいきます。

3.その他

長期間嘉響をご利用して下さった方の中には 10 年近く続けてご利用いただいた方もいます。長く利用していただく中で、状態変化等により重度化したとしても、施設入居やお亡くなりになる直前まで嘉響でサービス提供を続けられたことは、職員の自信につながったと思います。

発行/デイサービスセンター 嘉響

ひのくま

令和6年春号



すがすがしい風が吹き、新緑が鮮やか季節となりました。
嘉響は四月で開所二十周年を迎えました。二十年間続けてこられたのも、利用者様のおかげです。
利用者様と一緒に満開の桜を見にいきました。みなさまから、「来年も一緒に見たいね」「元気をもらった」とうれしいお言葉を頂きました。これからも、一緒に楽しみ、笑い、「活気ある毎日」を作って行きたいと思っています。

<かきょうのひとこま>



「昔、公民館でやっていたよ」

三階でピアノを見つけると、「ちょっと弾いてみていい？」とおっしゃり、早速童謡を歌いながら、弾いてくださいました。

「昔は公民館で、歌をみんなで歌ったり、大正琴をしたりしたんだよ。大正琴は師範の前でやって、段を取ったりしたんだよ」とエピソードを話してくださいました。



「ごぼう先生の体操はおもしろいね」

最近、ごぼう先生のストレッチ体操・足踏み体操がブームになっています。

みなさまからは「知らぬ間に体を動かしているよね。」「知っている歌に合わせて、運動するっていいね」という声を頂いています。職員も一緒に行い、気持ちよく体を動かしています。



家で塗ってみて、予定を書いてみたよ！

職員が作ったカレンダーを見て、利用者様から「私も塗り絵をしてみたい。でもあなたのように竹の子を上手に書けないよ」と声を掛けられ、即席の塗り絵を作ってみました。自宅で、色鉛筆を使い、濃淡をつけて塗り、予定を書き込み、再び嘉響へ持ってきてくださいました。「家でやることが出来て良かったよ」とおっしゃり、嘉響での活動が自宅での楽しみにつながったようです。

<5月の空き状況>

○空きあり △ご相談ください ×空きなし

曜日	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
空き	○	○	○	○	○	○



社会福祉法人駿河会

デイサービスセンター 嘉響

静岡市葵区富沢 1542-39 社会福祉法人 駿河会 晃の園内

電話 054-270-1210 (担当)：小黒・加藤

【定員】18名 (月)～(土)まで ※年末年始除く

無料体験・見学お待ちしております

ホームページ

<http://www.surugakai.net/kakyou/>



デイサービスセンターこだま令和5年度実績報告

地域密着推進会議

令和6年6月13日

★近況報告

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響もなく、1年を過ごすことが出来ました。

こだまを利用されている方は、年齢74歳から95歳まで、年齢差は21歳と、幅広い年齢の方が利用されています。80歳代は少なく、70歳代、90歳代が大半を占めています。

要介護1から要介護5までで、認知症高齢者の生活自立度は自立の方も利用されていますが、“日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。”3以上の方が半数を占めています。

状態が様々な利用者を、介護職員5名でその人に合わせた手厚い介護を行っています。

★稼働状況

	令和5年度	令和4年度
延べ利用者数	1759名	1959名
1日平均利用者数	5.71名	6.36名
稼働率	47.59%	53%
年間収入	2207万円	2502万円
新規利用者数	12名(外部4名)	11名(外部4名)
終結者	17名	15名

<最近の傾向>

収入は、前年度より下回っています。

この数年は、新規利用者数よりも、終結者数が上回る傾向が続いています。

4月は請求件数15件で始まり、6月は20件まで増加しましたが、徐々に減少し

3月の請求件数は11件になってしまいました。

12名の新規利用者がいましたが、17名の方が終結され、終結者数が上回っています。

終結の利用期間を見ると、2年未満の方は昨年度では7割でしたが、今年度は8割になり利用期間の短い方の割合も増えてきています。利用期間は最短で1ヵ月、最長4年6ヵ月でした。利用期間が短く、入れ替わりも早くなっています。

終結の内訳は、死去や体調悪化の為、復帰の見込みがない方が半数(9名)を占めていました。

その他は、長期入所(5名)や他のサービス利用(3名)でした。

こだまを新規利用される方の傾向として、認知機能の低下が著しい方や高齢の方、末期がんなど体調に不安がある方が多くなってきています。

終結された方のご家族に話を伺うと、「他のデイを使っていたけど、もっと早くから、こだまさんを使えばよかった。」「連絡帳で連絡を取り合い、良くしてくれました。感謝の言葉しかありません。周りに介護が必要になった方がいた時には、お勧めします。」などと、「こだまを利用して良かった。」などと言葉をもらう事ができています。

★活動報告

『安心して在宅生活を送る事ができる様に支援する』という目標で、利用者の困りごとに対して何件かアドバイスを行う事ができました。

例えば、「夜間、家族を呼び寝ない為、家族の休息時間がない。」と困っている家族に対し、「介助型の車椅子を使用していましたが、自分で動けるように自走式車椅子の変更し、日中の活動量を増やしたらどうか」と提案を行い、「デイの後は、夜寝てくれる。」と家族から返答をもらう事ができました。

★地域に向けた活動

・地域清掃

昨年度は、暑いことが多い、できる時期が限られてしまいましたが、利用者の状態や天候を

伺いながら実施しました。

・ゴミ箱づくり

利用者と共に広告や新聞紙でゴミ箱を折り、特養に寄付を行っています。初めから最後まで折るのは難しい方もいる為、部分的に折るなど、利用者のできる範囲で行っています。

誰かの為になり事は、皆さんやりがいに繋がりますので、これからも、できることをみつけて、活動に繋がっていきたいと思います。

～食事編～

★栄養バランスバツチリ

★メニューが豊富で、特別献立もあり美味しい。

★旬の食材を使う事により、季節感を感じることが出来ます。

★音楽を流しながら食事を食べる事により、食欲が増します。

★食器の種類が豊富で、目でも楽しむことができます。

★食べ物アレルギーの方、代食で対応できます。

★一口大からペースト状まで、食べやすい形態に変更できます。

★食事を美味しく食べるために、食事前は、口腔体操を行います。

★言語聴覚士が状態を確認し、訓練等アドバイスができます。

★歯磨きの支援をします。歯ブラシはここまで準備し管理します。

★口腔内で心配事がある時には、歯科衛生士に相談できます。

★お昼の薬の管理を行います。

★おやつは、和菓子や洋菓子など、種類が豊富です。

★美味しい物を食べると、会話も弾みます。

★おやつをゆっくり食べ、落ち着いてから自宅に帰ります。



ここまでできること100

ご飯をおいしく

食べるこことが

できこいますか？

